

動物学者あるいは探検家として有名なベルグマン博士が 1929~30 年に千島を探検した時に採集した動植物の標本がスウェーデン国ストックホルム博物館に保存されている。そのうちセン・タイ類標本の同定を同博物館のペルソン博士から依頼された。それにはタイ類 7 種、セン類 24 種があって、そのリストをここに発表する。旧北系ないしは北半球の広布種が大部分で、その他日本を中心にして極東域に分布しているものが 3 種ある。中に同定が困難で、とりあえず *Ctenidium* 属に入れておいたものが 1 種ある。

□ H. W. Rickett: **Wild flowers of the United States** Vol. 1, pt. 1~2, The Northeastern States, 4to, pp. i—x, pll. 1—180, +A, B, ca. 67 Figg. 1966, McGraw-Hill, N. Y. 魅力にあふれた大型の写真図鑑。本書は New York Botanical Garden の園長 Steere 博士の編集のもとに、企画された計画の一部で、合衆国東北の 22 州、国の面積で約 1/4 の部分の野生草本顕花植物から *Glumiflorae* を除いた約 3000 種の中、約 1700 種をあつかっている。この中には少数の移入野生化のものも入っている。すべて落ちついた色調の原色写真が各種について 1 枚またはそれ以上あり、これが 180 plates 及び A, B の plates におさめられている。本書の特色は植物等にくわしくない一般市民のために書かれていることで、説明にはつとめて術語を避けてあることである。また内容は勿論一流のスタッフによっているが、写真の製作には一般市民が参加して、約 100 名から提出された写真の中、専門の写真家を含む 53 名の作品が採用されている。写真は植物の花や果実や植物体全部を写したものが適当に採用されているが、植物の生えている環境や周囲の風景には重点がおかれていないのも特長である。24 頁にわたる序章はすべて初心者へのガイドとなっていて、全体を 13 のグループに分けて、非常に単純化した key によって読者の求める植物が見出せるようになっている。主として Rockefeller 家の援助によって出版にまで持って来られたという。このような写真図鑑から恩恵をうけるのは単に一般市民のみでなく、専門家にも大いに参考となろう。お役所風、商業主義および象牙の塔入りをまぬかれた、アメリカ式市民主義の立場が典型的に前面に押し出された好例である。日本の立場に適合した企画でこのような出版がなされることが待望される。近來日本における自然の蚕食、略奪は目にあまるものがあるが、これを防ぐのには法律も、お説教もあまり力はないと思われる。民衆の自然への愛情とそれが共有の財産であるとの自覚をつくることのみがこの悲劇を食い止めることを可能にすると思われる。日本でも、今こそ大きい公の事業として、このような出版が必要と思われる。本書について、一寸気のついた所では、pl. 106 および 180 に二、三の写真が倒置または横向きとなっていること、また一部の写真が説明の文章から遠い頁にあることである。

(津山 尚)